

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょ

地域密着型サービスの自己評価項目構成

| | 項目数 |
|--------------------------------------|------------|
| I. 理念に基づく運営 | 22 |
| 1. 理念の共有 | 3 |
| 2. 地域との支えあい | 3 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | 5 |
| 4. 理念を実践するための体制 | 7 |
| 5. 人材の育成と支援 | 4 |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | 10 |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | 4 |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | 6 |
| III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | 17 |
| 1. 一人ひとりの把握 | 3 |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | 3 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | 1 |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | 10 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | 38 |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | 30 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | 8 |
| V. サービスの成果に関する項目 | 13 |
| 合計 | 100 |

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

| | |
|-----------------|-------------------|
| 事業所名 | 大津ケアセンターそよ風 |
| (ユニット名) | さくら |
| 所在地 (県・市町村名) | 滋賀県大津市瀬田3丁目 |
| 記入者名 (管理者) | 小川 容子 |
| 記入日 | 平成 20 年 11 月 11 日 |

| 自己評価項目 | 外部評価項目 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印(取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------|--------|--|---|-----------------|--|
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| I-1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | <input checked="" type="checkbox"/> ①地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 地域との交流を深めるために、近隣を巻きこんだ夏祭り・餅つき大会等の行事を設けている。地域密着型施設の理念にも地域との関わりを重視した内容となっている。 | | |
| 2 | 2 | <input checked="" type="checkbox"/> ②理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 地域密着型施設としての理念は、GH事務所内・フロア内に掲示して、日々職員が確認しながらケアに当たっている。 | | |
| 3 | | <input checked="" type="checkbox"/> ③家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる | 運営推進委員会を隔月実施し、地域の方家族にも参加して頂き、理念の浸透を図っている。 | | |
| 理念と共有 3項目中 3項目 | | | | | |
| I-2. 地域との支え合い | | | | | |
| 4 | | <input checked="" type="checkbox"/> ①隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | 地域で行われる一斉掃除や消防訓練などに可能な限り参加し交流をとっている。また、顔の見えるお付き合いを意識して、散歩時・回覧配布時に入居者と伴に近所を訪問する。 | | |
| 5 | 3 | <input checked="" type="checkbox"/> ②地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 地域の運動会に参加したり、自治会の文化祭に日常生活で作成している作品を出品している。 | | |
| 6 | | <input checked="" type="checkbox"/> ③事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | 居宅支援事業所も併設しているため、常時介護相談は受付けている。認知症や介護についての相談窓口がある。 | ○ | 施設を開放しての勉強会があるが、今回は同業者・職員が対象となっており、今後地域一般の方にも広げたい。 |
| 地域とのつきあい 3項目中 3項目 | | | | | |

| 自己評価項目 | 外部評価項目 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印(取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------|--------|---|--|-----------------|---|
| I-3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 7 | 4 | <input checked="" type="checkbox"/> ①評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 全職員が話し合いながら自己評価を記入することはできなかったが、個々が目を通し記入する形式をとり自律を促した。 | ○ | 理念に基づき、私たちが提供するサービスが理連を逸脱していないか、定期的に振り返りを実施したい。 |
| 8 | 5 | <input checked="" type="checkbox"/> ②運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 二ヶ月に一度開催し、全家族にも案内を送り参加の声かけを行っている。ユニット内の報告をし、希望や疑問について討議できている。家族同志の情報交換の場にもなっている。 | | |
| 9 | 6 | <input checked="" type="checkbox"/> ③市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 行政主導で実施される研修等に可能な限り参加している。その際助言・指導も受けている。 | | |
| 10 | | <input checked="" type="checkbox"/> ④権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | 地域権利擁護事業や成年後見制度については、個人的なレベルでの知識に留まる。 | ○ | 全職員が一般的な知識として修得できるよう研修の機会を設ける。 |
| 11 | | <input checked="" type="checkbox"/> ⑤虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 高齢者虐待については、全職員が意識を高く持ち、ミーティング等の話し合いで徹底を図っている。 | | |
| 理念を実践するための制度の理解と活用 5項目中 5項目 | | | | | |
| I-4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 12 | | <input checked="" type="checkbox"/> ①契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 対話の時間を取り、疑問や不安がないよう説明をし、理解・納得の上、契約を交わしている。 | ○ | 見学者があれば十分に時間をかけ、説明及び話しを聞いている。契約時にも再度説明し、理解、納得してもらっている |
| 13 | | <input checked="" type="checkbox"/> ②運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 苦情の窓口がある。推進委員会の中でも介護に対する率直な意見が出る。その都度真摯に受け止め、職員間で改善に向け話し合っている。 | | |
| 14 | 7 | <input checked="" type="checkbox"/> ③家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせて報告をしている | 定期往診の報告や出納帳の確認を家族来訪時に行っている。介護記録は常に閲覧できるようにしている。 | ○ | 月に一度新聞を発行し、家族宛てに発送している。 |

| 自己評価項目 | 外部評価項目 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印(取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|--------|--|--|-----------------|---|
| 15 | 8 | <input checked="" type="checkbox"/> ④運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | グループホームのエレベーターホールに意見箱を設置している。また、家族が意見を直接職員に対して言える関係が出来ている。 | | |
| 16 | | <input checked="" type="checkbox"/> ⑤運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 月に一回ユニットごとのミーティングを持ち、各自の意見・介護改善に向けた提案を出し合い話し合う場を設け反映させている。 | | |
| 17 | | <input checked="" type="checkbox"/> ⑥柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている | 必要時・緊急時等は、指示または相談で勤務調整をとっている。 | | |
| 18 | 9 | <input checked="" type="checkbox"/> ⑦職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | ユニット移動については、介護力のバランスを考慮しつつ、本人の意思確認・希望も考慮。移動してもいつでも交流できるようにして利用者へ配慮している | ○ | 職員の希望のみならず、スキルアップのためにも特定の職員に留まらず、どのユニットでも対応できるよう全職員が移動をしていくことも視野に入れる。 |
| 理念を実践するための体制 7項目中 7項目 | | | | | |
| I-5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 19 | 10 | <input checked="" type="checkbox"/> ①職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 研修には力をいれているが、人員ぎりぎりの状況が続いているため、余裕がなかった。年度後半は、人材育成に比重を移したい。 | ○ | 社内・外部研修、行政からの研修もあり、可能な限り参加する予定。 |
| 20 | 11 | <input checked="" type="checkbox"/> ②同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 会社内での他の施設との研修や京都・滋賀ブロック内交流研修を1回/月で実施し、他の事業も学ぶ仕組みがある。 | ○ | 他の事業所の見学や意見交換の場を持てるようにしていきたい。 |
| 21 | | <input checked="" type="checkbox"/> ③職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる | 人員の補充により、休暇の確保と、休憩時間の確保を進めている。 | ○ | 施設の構造上、現在は休憩室の確保が難しいが、1階相談室を休憩室としている。わずかな時間でも入居者から離れて休憩するように促している。 |
| 22 | | <input checked="" type="checkbox"/> ④向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている | 向上心は個人差があるといえる。職場環境と向上心は必ずしも一致しないが、人員補充を進めることで、個々にゆとりができれば、業務改善にもつながる。 | | |
| 人材の育成と支援 4項目中 項目 | | | | | |

| 自己評価項目 | 外部評価項目 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印(取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|--------|--|---|-----------------|----------------------------------|
| Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| Ⅱ-1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 23 | | <input checked="" type="checkbox"/> ①初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | 見学時から安心して話せるような雰囲気作りに努めている。 | | |
| 24 | | <input checked="" type="checkbox"/> ②初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | 話されることに対してしっかり耳を傾け、相談にも出来る限り回答し、不安を取り除く努力をしている。 | | |
| 25 | | <input checked="" type="checkbox"/> ③初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | ケアマネと相談し、必要とされている支援についてお知らせしている。 | | |
| 26 | 12 | <input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 入所するまでに本人、家族にグループホームを見学してもらい、他入居者とティータイムなどを共に過ごし、雰囲気や様子を見てもらっている。 | | |
| 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 4項目中 項目 | | | | | |
| Ⅱ-2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 27 | 13 | <input checked="" type="checkbox"/> ①本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 食事の準備や作品作りを共に行ったり、入居者の知恵や知識を学びながら日常生活に取り入れている。 | | |
| 28 | | <input checked="" type="checkbox"/> ②本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | 入居者の日常生活の様子について、話し合ったり、受診などの際には体調について互いに意見を出し合い相談して共に本人を支えている。 | ○ | 誕生日会や施設の行事に家族を招き、共に過ごす時間を設けている。 |
| 29 | | <input checked="" type="checkbox"/> ③本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | 入居前の本人と家族の関係等を家族来訪時にさりげなく聞き出し、その情報を元に本人と家族の関係を支援している。 | | |

| 自己評価項目 | 外部評価項目 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印(取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|--------|--|--|-----------------|--|
| 30 | | <input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れな いよう、支援に努めている | いつでも面会や電話、手紙のやりとりを 行える環境が出来ており、本人の意向を 大切に支援している。 | ○ | 馴染みの方の来訪時には、写真を撮 り、本人にも馴染みの方にも写真を渡 している。 |
| 31 | | <input checked="" type="checkbox"/> ⑤利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関 わり合い、支え合えるように努めている | 共通の趣味を持った方々に共に食事作り や作品作りを行う機会を提供するなどし て、入居者同士の関わり合いを大切に している。 | | |
| 32 | | <input checked="" type="checkbox"/> ⑥関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者 や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | 不安や心配事がある場合は、いつでも立 ち寄ってもらえるよう話し、相談にのるこ とも伝えている。 | | |
| 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 6項目中 項目 | | | | | |

| 自己評価項目 | 外部評価項目 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印(取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---|--------|---|--|-----------------|----------------------------------|
| Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| Ⅲ-1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 33 | 14 | <input checked="" type="checkbox"/> ①思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 職員本位で入居者が日常生活を過ごすことなく、思いのままに過ごしている。必要なことには声かけにて促すが、状況に応じて無理はせず、本人の意向を尊重している。 | | |
| 34 | | <input checked="" type="checkbox"/> ②これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 入所時に、家族より生活歴などの情報を書面にて預かり保管して、職員が周知している。 | | |
| 35 | | <input checked="" type="checkbox"/> ③暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている | 一ヶ月に一度、総括表を作成し、各入居者の現状をまとめている。 | | |
| 一人ひとりの把握 3項目中 項目 | | | | | |
| Ⅲ-2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 36 | 15 | <input checked="" type="checkbox"/> ①チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 計画を立てる際には、家族の意向を聞き取り全職員で課題などについての話し合いを行った上で介護計画を作成している。 | | |
| 37 | 16 | <input checked="" type="checkbox"/> ②現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 変化が生じた場合、医療機関や家族への早急な連絡・報告・相談を行い、その時の現状に合わせた介護計画を作成している。 | | |
| 38 | | <input checked="" type="checkbox"/> ③個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 毎日個別の介護記録を記入し、必要に応じたケアの記録も行っている。主治医や看護師の意見、指導も相談の上、都度取り入れ実践している。 | | |
| 介護計画の作成と見直し 3項目中 項目 | | | | | |
| Ⅲ-3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 39 | 17 | <input checked="" type="checkbox"/> ①事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | デイサービスに参加し、気分転換を図っている。 | | |
| 多機能性を活かした柔軟な支援 1項目中 項目 | | | | | |

| 自己評価項目 | 外部評価項目 | 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印(取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------|--------|--|---|-----------------|--|
| | | Ⅲ-4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | |
| 40 | | <input checked="" type="checkbox"/> ①地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | 随時、ボランティアの受け入れを行っている。 | ○ | 様々なボランティアの受け入れが出来るよう、こちらからも声を掛けていきたい。 |
| 41 | | <input checked="" type="checkbox"/> ②他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | 転所や入所の際だけでなく、検討中の施設に対しても情報の提供や収集のために連絡を密にしている。 | | |
| 42 | | <input checked="" type="checkbox"/> ③地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | 個別生活援助計画を作成し、三ヶ月ごとに見直し家族の意向を取り入れ具体的に計画内容を決めて援助している。 | | |
| 43 | 18 | <input checked="" type="checkbox"/> ④かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 定期往診を月に一度受けている。必要に応じて指示・指導を仰いでいる。 | ○ | 日頃より体調の変化に充分注意しており、往診時にすぐ報告できるよう、記録にまとめている。 |
| 44 | | <input checked="" type="checkbox"/> ⑤認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | 認知症専門医をかかりつけ医とし、定期的に通院してもらっている。 | ○ | 受診時には、日頃の状況・変化等を文面にまとめ、家族から医師へと渡してもらっている。医師からも文面にて返答あり、密な関係が出来ている。 |
| 45 | | <input checked="" type="checkbox"/> ⑥看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | 週に2日訪問看護師の依頼をしており、その都度各入居者の状態を報告・相談し、指示を仰いだり処置を行なってもらう。 | | |
| 46 | | <input checked="" type="checkbox"/> ⑦早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | 病院側のスタッフとのケアカンファレンスを必要に応じた回数行い、利用者の今後のケアについて意見交換している。 | ○ | 入院前と退院後のグループホームでの生活の変化や様々な影響を充分に考慮し、カンファレンスを行っている。 |
| 47 | 19 | <input checked="" type="checkbox"/> ⑧重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 入居者の介護度が進行した場合でも、その人らしい生活の継続を支え変化に即応した適切な介護をしている。 | | |

| 自己評価項目 | 外部評価項目 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印(取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------|--------|---|---|-----------------|----------------------------------|
| 48 | | <input checked="" type="checkbox"/> ⑨重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | 看護師に適切な指示を受けたり、医師へ連絡し指示・指導を仰ぎ対処している。 | | |
| 49 | | <input checked="" type="checkbox"/> ⑩住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | 家族・本人の意向を大切に話し合いを進めている。情報の提供として、介護サマリー等で情報交換を行っている。 | | |
| 地域資源との協働 10項目中 項目 | | | | | |


| 自己評価項目 | 外部評価項目 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印(取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------------|--------|--|---|-----------------|---|
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| IV-1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| IV-1. (1) 一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 50 | 20 | <input checked="" type="checkbox"/> ①プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしている | 記録等、個人情報となるものは鍵のついたロッカーに保管している。 | | |
| 51 | | <input checked="" type="checkbox"/> ②利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている | ケアカンファレンスの際には本人の意向を中心にして支援するような話し合いをしている。 | ○ | 可能な利用者については、今後も本人を交えたケアカンファレンスを行っていく。 |
| 52 | 21 | <input checked="" type="checkbox"/> ③日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | その日の体調と気分に合わせて、無理強いすることなく日々の生活を過ごしてもらっている。 | | |
| その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重 3項目中 項目 | | | | | |
| IV-1. (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 53 | | <input checked="" type="checkbox"/> ①身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている | 季節やその天候に合わせた衣類を本人と共に選んだり、理容、美容も定期的にそれぞれ行っている。 | | 移動美容院の利用だけでなく、個人レク、外出を兼ねて美容院へ出掛けるなど、今後行いたい。 |
| 54 | 22 | <input checked="" type="checkbox"/> ②食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 食事の下ごしらえ、材料切りなど、それぞれの入居者様がそれぞれ出来る事を個人で行ったり、又、皆で行ったりしている。下膳や食器洗いも出来る方は行っている。 | | |
| 55 | | <input checked="" type="checkbox"/> ③本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している | ティータイム時には好みのものをそれぞれ選んで頂き提供している。又、会話の中で知り得た好物などを食事のメニューに取り入れしたりして、楽しんで頂けるよう工夫している。 | | |
| 56 | | <input checked="" type="checkbox"/> ④気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | 排泄パターンをつかみ、声掛けや誘導を行い失敗等を減らすよう努めている。日中、夜間に応じたパットの使用など工夫している。 | ○ | 自尊心を傷付けないように努めている。 |
| 57 | 23 | <input checked="" type="checkbox"/> ⑤入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | その日の体調や気分も考慮し、入浴を行っている。又、それぞれの入居者様のペースで入浴を楽しんでもらっている。 | ○ | 好みの湯の熱さや入浴の時間など、職員が把握して、入浴を楽しんでもらっている。 |

| 自己評価項目 | 外部評価項目 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印(取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------------|--------|---|--|-----------------|--------------------------------------|
| 58 | | <input checked="" type="checkbox"/> ⑥安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | 日中であっても、一人ひとりが自分のペースで過ごせるよう、いつでも居室にて休息できる環境を提供している。 | ○ | 夜間等、居室内の温度は一人ひとりの好みや体調を考慮し設定している。 |
| その人らしい暮らしの支援 (2)基本的な生活の支援 6項目中 項目 | | | | | |
| IV-1. (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 59 | 24 | <input checked="" type="checkbox"/> ①役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 入居者それぞれの得意なこと、不得意なこと、好きなこと、嫌いなことを踏まえて、毎日の生活の中での役割や楽しみを提供し、入居者の日常生活を支援している。 | | |
| 60 | | <input checked="" type="checkbox"/> ②お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 外出時には買い物などを楽しむと共に、自分でお金を払ってもらえるようにお金を渡すなどしている。 | | |
| 61 | 25 | <input checked="" type="checkbox"/> ③日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 一人ひとりの体力などを把握した上で散歩や外出をしている。 | ○ | スーパーへの買い物などに行く機会も大切にしている。 |
| 62 | | <input checked="" type="checkbox"/> ④普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | 季節に応じた外出を企画したり、利用者の希望を取り入れた外出を企画し、支援している。 | ○ | 今後も個別レクに重点を置き、外出を楽しんでもらえるよう支援していきたい。 |
| 63 | | <input checked="" type="checkbox"/> ⑤電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | いつでも家族様などに電話をしてもらえる環境である。手紙も自身に書いてもらい写真での便りも行っている。 | | |
| 64 | | <input checked="" type="checkbox"/> ⑥家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | いつでも気兼ねなく来て頂けるよう声を掛けている。家族的な雰囲気作りを心掛けている。 | | |
| その人らしい暮らしの支援 (3)社会的な生活の支援 6項目中 項目 | | | | | |
| IV-1. (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 65 | | <input checked="" type="checkbox"/> ①身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 出来るだけ研修には参加しているが、全員の参加は困難である為、内部研修を行ったり、資料の回覧を行っている。 | ○ | 交代で全職員が研修等で学べるよう、取り組んでいく。 |

| 自己評価項目 | 外部評価項目 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印(取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------------|--------|--|---|-----------------|---|
| 66 | 26 | <input checked="" type="checkbox"/> ②鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 皆が利用するリビングの出入口等は日中鍵はかけていない。各居室の鍵は利用者自身に任せている。 | | |
| 67 | | <input checked="" type="checkbox"/> ③利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | 常に見守りを行っている。職員間の連携も声を掛け合い行っている。夜間は2時間毎に巡視している。 | | |
| 68 | | <input checked="" type="checkbox"/> ④注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | 馴染みの品を持ち込むことを大切にしているが個々の状態によっては危険を防ぐためにも話し合いの上、対応している。 | | |
| 69 | | <input checked="" type="checkbox"/> ⑤事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | 防火訓練を定期的に行っている。訓練において発覚する問題において、助言を受け、対策を考え、事故防止に取り組んでいる。 | ○ | 誤薬を防ぐため、薬は分包にて処方してもらっている。利用者様の状態に応じ錠剤の服用が困難な場合等は形状を変えてもらっている。 |
| 70 | | <input checked="" type="checkbox"/> ⑥急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | 救命救急の講習を定期的に行っており、全職員が受講するよう努めている。 | ○ | 応急手当などは日々変わっていくものなので、今後も講習を行い、全職員が熟知するよう努めていきたい。 |
| 71 | 27 | <input checked="" type="checkbox"/> ⑦災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 避難訓練の実施を行うと共に、地域との話し合いをして災害時には協力を得られるよう働きかけている。 | | |
| 72 | | <input checked="" type="checkbox"/> ⑧リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている | 家族、医療機関との連携は常に行い、対応策を話し合っている。 | | |
| その人らしい暮らしの支援 (4)安心と安全を支える支援 8項目中 項目 | | | | | |
| IV-1. (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 73 | | <input checked="" type="checkbox"/> ①体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | 訪問看護師との連携が出来ており、気付いた際には速やかに報告、連絡、相談する。必要に応じ、Dr.への往診を依頼し、早期に対応している。バイタルチェックは毎朝必ず行っている。 | | |

| 自己評価項目 | 外部評価項目 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印(取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|--------|---|--|-----------------|---|
| 74 | | <input checked="" type="checkbox"/> ②服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 毎月薬剤情報を医師から発行してもらい薬剤について理解している。服薬は、必ず服用するまでの確認を行っている。変化がある場合は、Dr. Ns.に早急に相談している。 | ○ | 錠剤の服用が困難になった場合などは、医師に相談し、形状を変えてもらうなど、連絡を密にしている。 |
| 75 | | <input checked="" type="checkbox"/> ③便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | Dr. Ns.からの助言を元に食事や飲み物に工夫をしたり、体を動かすことで便秘の解消に繋げるため、毎日体操を行い散歩なども出来る限り行っている。 | | |
| 76 | | <input checked="" type="checkbox"/> ④口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | 毎食後必ず口腔ケアを行っている。入居者様によって、ケアが困難な場合は、うがいのみ必ず行い、清潔保持に努めている。 | | |
| 77 | 28 | <input checked="" type="checkbox"/> ⑤栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | それぞれの健康状態を把握した上で、食事量を調整したり、食べやすい工夫している。水分摂取量にも充分注意し、摂取してもらっている。 | | |
| 78 | | <input checked="" type="checkbox"/> ⑥感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等) | 本社からの通達があり、職員には随時回覧され、実行している。又、毎日の手洗い、消毒は必ず行っている。年に一度、全員がインフルエンザの予防接種を受けている。 | | |
| 79 | | <input checked="" type="checkbox"/> ⑦食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | 食材は毎日仕入れ、その都度使い切るようにしている。用具や食器は、必ず高温の乾燥機にかけ、食中毒の予防に努めている。 | | |
| その人らしい暮らしの支援 (5)健康面の支援 7項目中 項目 | | | | | |
| IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| IV-2. (1) 居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 80 | | <input checked="" type="checkbox"/> ①安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | 玄関には、季節ごとに花を植えかえ、入り口に手作りの飾り物を置いたり工夫している。 | | |
| 81 | 29 | <input checked="" type="checkbox"/> ②居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 作品を飾ったり、音楽を流したり、居心地の良い共用空間作りをしている。 | | |

| 自己評価項目 | 外部評価項目 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印(取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--|--------|---|--|-----------------|---|
| 82 | | <input checked="" type="checkbox"/> ③共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 食事とテレビを観たりする空間をテーブルとソファに分けることで、独りで過ごしたり、利用者様同士で過ごしたり出来ている。 | | |
| 83 | 30 | <input checked="" type="checkbox"/> ④居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 自宅から馴染みの物を持ってきたり、家族との写真や作品を飾っている。また、家族様と本人が相談し、居心地の良い空間作りをされている。 | | |
| 84 | | <input checked="" type="checkbox"/> ⑤換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | 換気は必ず毎日行い空気の入れ換えをしている。季節に応じ、日中、夜間 それぞれ空調にて温度調節をこまめに行っている。 | ○ | 季節の変わり目を特に注意して、今後ともより一層 体調不良者出ないように努めていく。 |
| 生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり 5項目中 項目 | | | | | |
| IV-2. (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | | |
| 85 | | <input checked="" type="checkbox"/> ①身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | トイレや風呂場が認識できるように表示している。また、危険箇所のチェックを行っている。 | | |
| 86 | | <input checked="" type="checkbox"/> ②わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | 表札や写真や目印などで認識出来るよう、さりげない自立の支援を行っている。 | | |
| 87 | | <input checked="" type="checkbox"/> ③建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている | ベランダにテーブルと椅子を設置している。花や植物なども植え、ベランダを楽しめる工夫をしている。 | | |
| 生活環境づくり (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり 3項目中 項目 | | | | | |

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

| V. サービスの成果に関する項目 | | 取り組みの成果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること) |
|------------------|---|---|
| 項目 | | ↓○印欄 |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | ○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | ○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ○ ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 94 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている | ○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない |
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない |

| 項 目 | | 取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること) |
|-----|---|---|
| 97 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | ↓○印欄 ○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない |
| 98 | 職員は、生き活きと働けている | ○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 99 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

評価結果整理表

| 個 別 表 | □のチェック項目数 |
|---|------------|
| I 理念に基づく運営 | |
| －1. <input checked="" type="checkbox"/> 理念と共有 | 3 項目/3項目 |
| －2. <input checked="" type="checkbox"/> 地域との支え合い | 3 項目/3項目 |
| －3. <input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための制度の理解と活用 | 5 項目/5項目 |
| －4. <input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための体制 | 7 項目/7項目 |
| －5. <input checked="" type="checkbox"/> 人材の育成と支援 | 4 項目/4項目 |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | |
| －1. <input checked="" type="checkbox"/> 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | 4 項目/4項目 |
| －2. <input checked="" type="checkbox"/> 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | 6 項目/6項目 |
| III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | |
| －1. <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの把握 | 3 項目/3項目 |
| －2. <input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | 3 項目/3項目 |
| －3. <input checked="" type="checkbox"/> 多機能性を活かした柔軟な支援 | 1 項目/1項目 |
| －4. <input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | 10 項目/10項目 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | |
| IV－1. その人らしい暮らしの支援 | |
| －1. (1) <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの尊重 | 3 項目/3項目 |
| －1. (2) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | 6 項目/6項目 |
| －1. (3) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | 6 項目/6項目 |
| －1. (4) <input checked="" type="checkbox"/> 安心と安全を支える支援 | 8 項目/8項目 |
| －1. (5) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | 7 項目/7項目 |
| IV－2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | |
| －2. (1) <input checked="" type="checkbox"/> 居心地のよい環境づくり | 5 項目/5項目 |
| －2. (2) <input checked="" type="checkbox"/> 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | 3 項目/3項目 |

総合評価

I 理念に基づく運営 (項目/5項目)について

職員は毎朝、理念を唱和し、理念に沿ったケアを心がけている。

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 (項目/2項目)について

生活を共にする事により、入居者が安心して職員との馴染みの関係を築きながらお互いを支えあい、協力していけるように日々努力している。

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント (項目/4項目)について

入居者や家族の意見、要望を聞き、一人一人がその人らしい生活が出来るように心がけている。状態の変化には主治医、看護師の協力を得て、随時迅速に対応している。

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 (項目/7項目)について

常に入居者個々の体調を把握し、毎日快適に過ごしてもらえるよう、職員の支援の統一をしている。又、個々の想いに添えるように場面の提供に努めている。

V サービスの成果に関する項目について

入居者は無理をすることなく自分のペースで生活できており、職員が出来ることをさりげなく援助し、自然な形で自分の持てる力を発揮しながら暮らしている。家族の理解もあり、大変協力的である。

★サービスの質の向上に向けて、取り組む課題と優先順位、具体的な行動の計画

評価年月日： 20 年 11 月 11 日

前回評価年月日： 19 年 8 月 20 日

| サービスの質の向上に向け取り組む課題 | | | 取り組み期間 (○年○月 ~ ○年○月まで) | 改善に向けた具体的 な行動 | 達成度評価 | 次期 評価 実施 時期 |
|--------------------|----------|---------------------|------------------------------|------------------------|--|----------------------|
| 評価項目 番号 | 優先 順位 | 内 容 | | | | |
| 21 | 1 | 職員のストレスの軽減に向けた取り組み。 | | 休息室の確保。気分転換の為に長期休暇の確保。 | 1階の相談室を休息室として使用できるようにはなっているが少し離れているのでほとんど行っていない。 事業所は職員の増員に勤めている。 | |